

2-1. 縄文のむらから古墳のくにへ	組	名前	
--------------------	---	----	--

1. 縄文や弥生のむらの様子について、次の文の中で正しいと思うものを4つ選び、()に○をつけましょう。

- () 地面を浅くほり、そこに柱を立てて、草などで屋根をふいた「たて穴住居」に住んでいた。
- () 縄文のむらでは、野山の動物、木の実や山菜を手に入れて生活していた。
- () 縄文のむらは、ほかのむらとの争いにそなえて、まわりを堀やさくで囲んでいた。
- () 大陸から米づくりが伝わり、くらしやむらの様子、使う道具が変わっていった。
- () 弥生のむらでは、大陸から伝わった仏教を信仰するようになり、仏像をまつようになった。
- () 大陸から鉄器や青銅器などが伝わり、農作業や生活の様子が少しずつ変化していった。
- () 高床式につくった倉庫には金属やお金などの貴重品を保管していた。

2. 古墳がつくられたころの様子を説明している文です。それぞれの文に関係の深い言葉を下の□の中から選んで記号（ア～ウ）で書きましょう。

- ①それまでの日本にはなかった養蚕や鍛冶などの技術や文化を伝えた。 _____ □
- ②各地に豪族と呼ばれる指導者が現れ、その力を示すようになった。 _____ □
- ③各地の豪族をしたがえて国を治める政府の力がだんだんと強まっていった。 _____ □
- ④日本最大のものは近畿地方につくられた。 _____ □
- ⑤大陸から文化や仏教が伝わり次第に広まっていった。 _____ □
- ⑥中心となったものは大王（おおきみ）と呼ばれ、後に天皇となる。 _____ □

ア. 渡来人 イ. 古墳 ウ. 大和朝廷

3. 左の年表を参考にして、年代順になるように右の資料の口に番号を書きましょう。

いつごろ	主なできごと
5500年前	三内丸山遺跡
2300年前	板付遺跡
1世紀	吉野ヶ里遺跡
3世紀	女王卑弥呼のくにが栄える 古墳がつくられる
4世紀	大和朝廷の力が強まる 渡来人が大陸の文化を伝える
5世紀	大仙古墳

 教科書 p. 9 「縄文土器」	 教科書 p. 19古墳を築いている様子」
 古事記、日本書紀	 教科書 p. 11 「弥生土器」